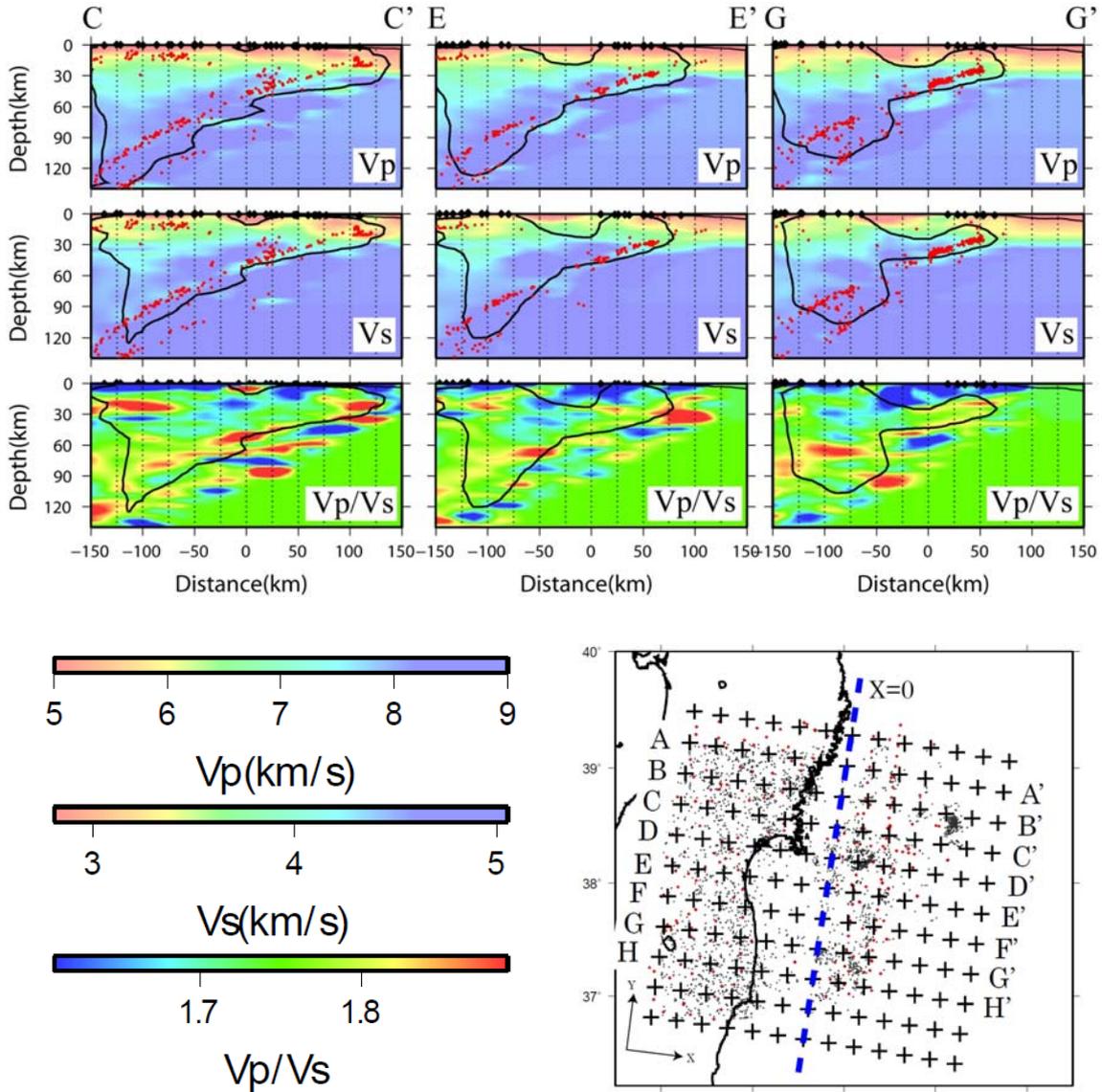


グラビア

(1) 短期海底地震観測および陸上地震・測地観測によるプレート間すべりに関する研究  
 (3. 1 参照)



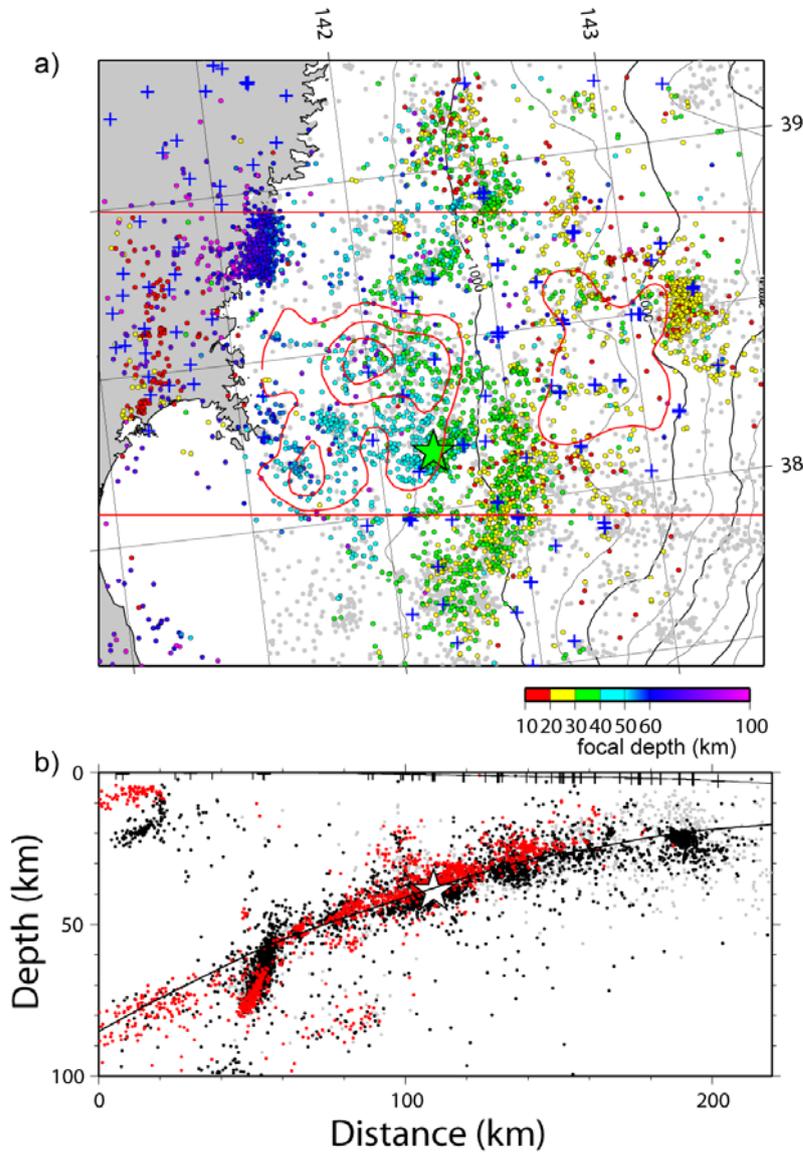
Double-Difference トモグラフィー法で推定した  $V_p$ 、 $V_s$  及び  $V_p/V_s$  構造の鉛直断面図。右下図中の CC' 断面、EE' 断面、GG' 断面を示す。それぞれ  $\pm 15$  km 以内の地震を赤点で示す。

## (2) 長期海底地震観測によるプレート間すべりに関する研究

(3. 2 参照)



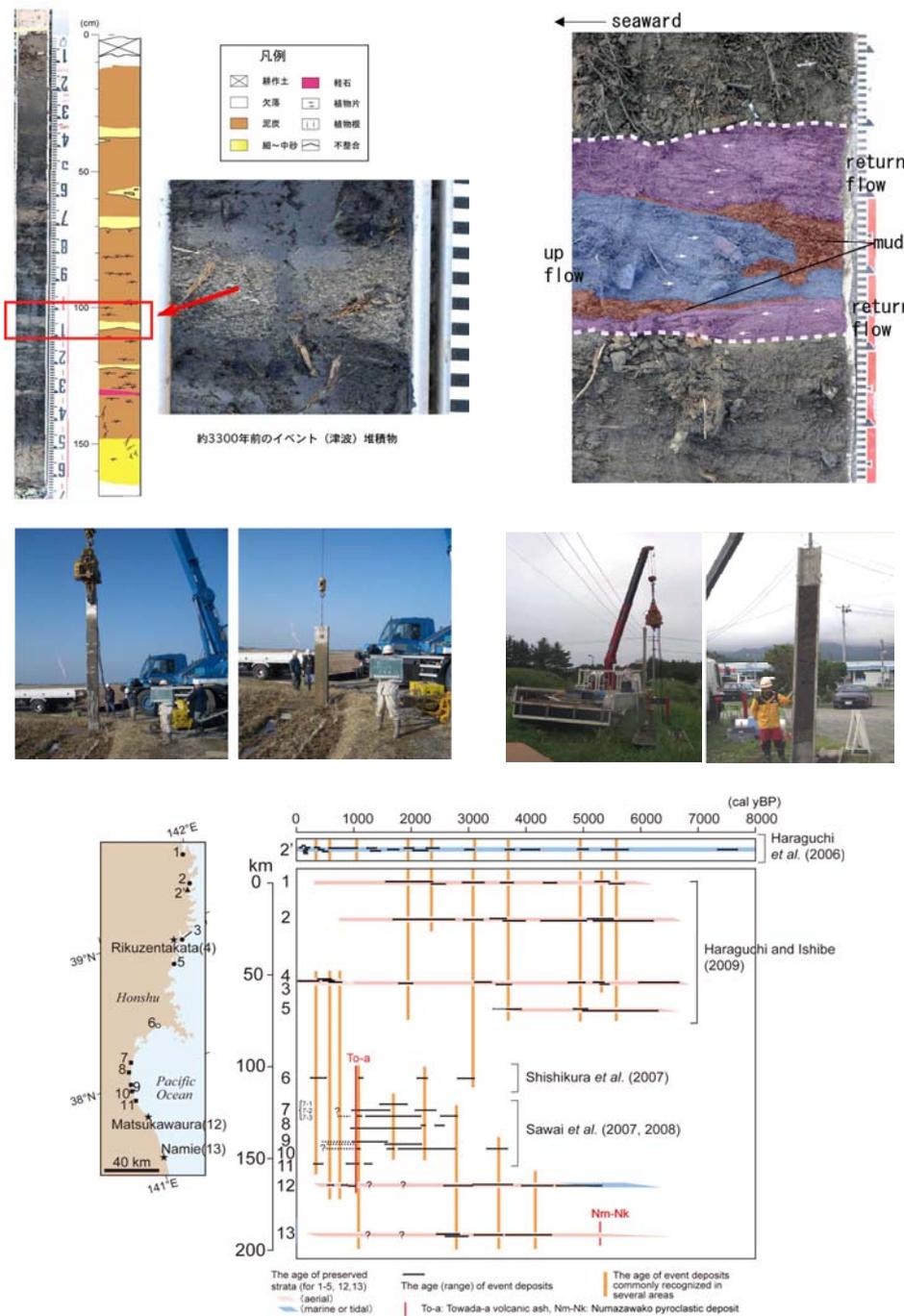
本業務で使用した  
長期観測型海底地震計。



本業務の再決定により得られた、宮城県沖における震源分布。a) 震央分布。震源深さを色別で表示した。赤色コンターは1978年及び1981年の地震のアスペリティの位置。灰色丸は気象庁一元化震源。b) 震源深さを示す鉛直断面図。黒丸が再決定された震源。赤丸はそのなかでも特に震源決定精度が高いもの。灰色丸は気象庁一元化震源。曲線でプレート境界地震を選択する際の基準とした面を示す(詳細は本文)。断面図の位置を a) 内に赤矩形で示した。星印は再決定された2005年の地震の本震震源。

(3) 津波堆積物調査にもとづく地震発生履歴に関する研究

(3. 3 参照)



上：(左) 約 3000 年前の津波堆積物 (福島県浪江)、(右) 1960 年チリ地震津波堆積物 (陸前高田)

中：クレーンとバイブロハンマーを使ったジオスライサーの調査

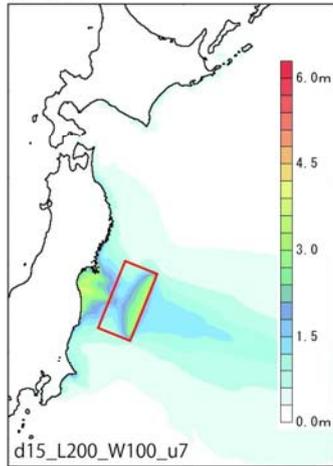
下：三陸海岸～常磐海岸地域の過去の津波堆積物の時空分布

(4) 地質調査・津波シミュレーションに基づく地震発生履歴に関する研究

(3. 4 参照)

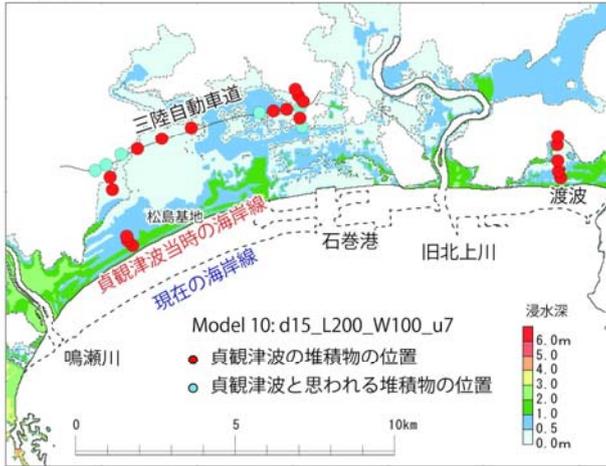
津波堆積物調査に基づいた貞観津波の再現

Model 10

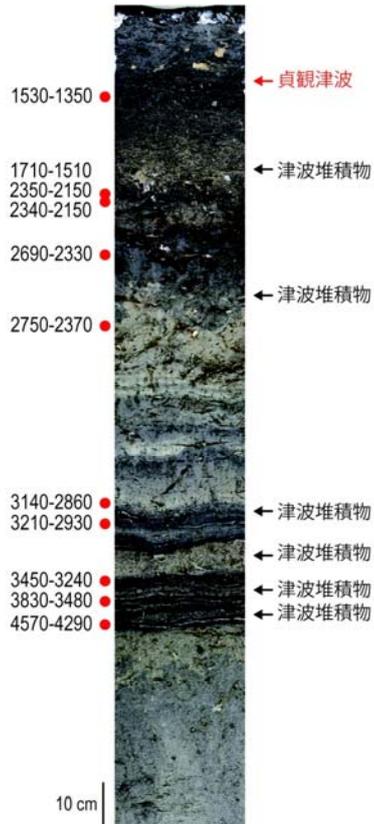


Model 10の断層の位置（赤枠）と最大水位分布

石巻平野



Model 10による石巻平野の最大浸水深と津波堆積物の分布



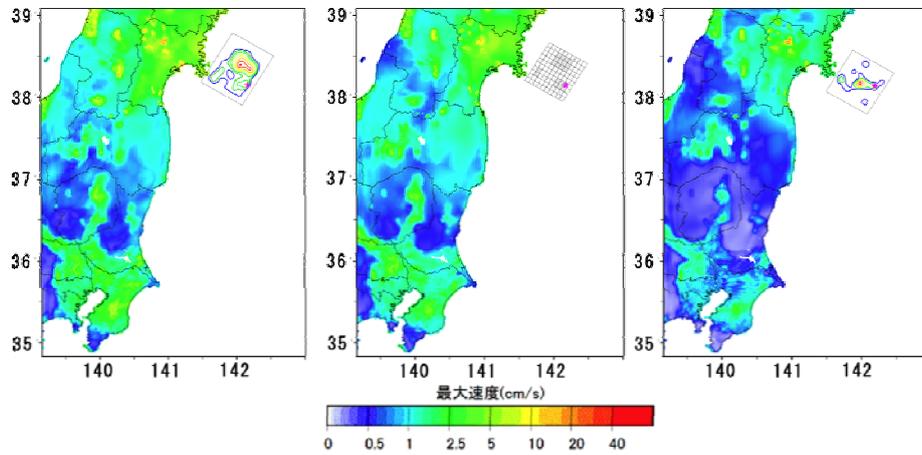
仙台市で採取されたジオスライサー試料と放射性炭素年代測定結果



仙台市における大型ジオスライサー掘削

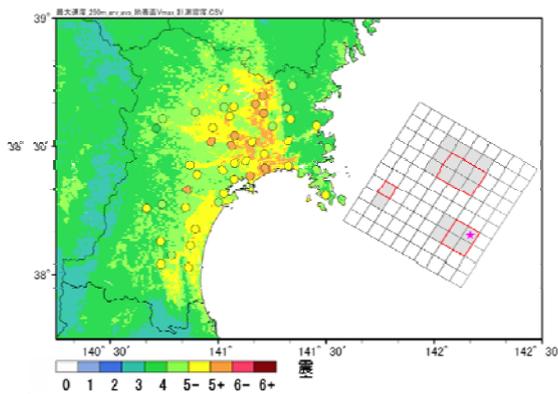
(5) 仙台圏における高精度強震動予測に関する研究

(3. 5 参照)

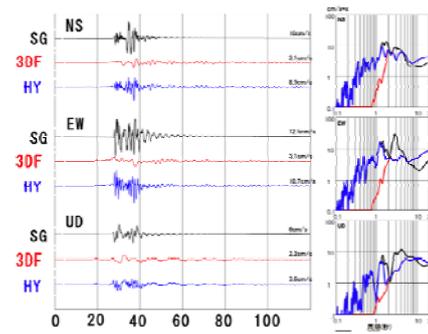


宮城県沖地震における長周期地震動予測の最大速度分布。

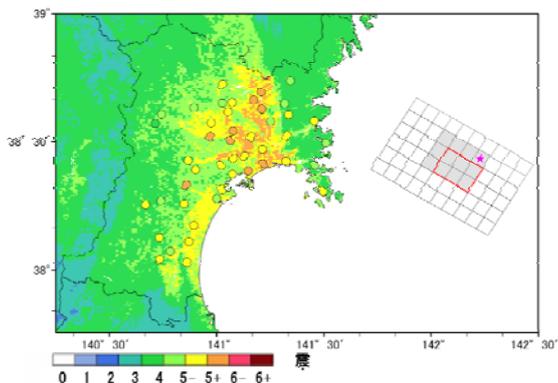
左：1978 年前イベント震源。中：1978 年特性化震源。右：2005 年前イベント震源。



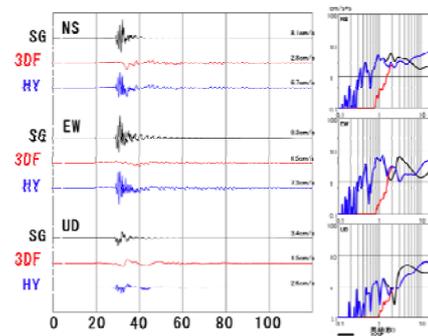
宮城県沖地震による予測震度分布。



宮城県庁における広帯域地震動予測。



宮城県沖地震による予測震度分布。  
(北部単独シナリオの場合)



宮城県庁における広帯域地震動予測。  
(北部単独シナリオの場合)